

最近の静岡県金融経済の動向 (2018年9月)

(概況)

県内の景気は緩やかに拡大している。









最終需要の動向をみると、設備投資は製造業を中心に増加が続いている。また、輸出は振れを伴いながらも緩やかに増加しているほか、公共投資は増加している。個人消費は雇用・所得環境が緩やかに改善する中、持ち直しの動きが続いている。他方、住宅投資は下げ止まりつつある。

こうした下で、企業の生産は振れを伴いながらも緩やかに増加している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状態が続いているほか、所得は緩やかな増加が続いている。

消費者物価（除く生鮮食品）は前年を上回っている。

(管内金融経済概況早見表)

項目		前回からの変化※
全体判断		
1. 需要項目別の動向	(1) 個人消費	
	(2) 公共投資	
	(3) 設備投資	
	(4) 住宅投資	
	(5) 輸出	
2. 生産、雇用・所得、物価の動向	(1) 生産	
	(2) 雇用・所得	

本件に関する問い合わせ先
日本銀行静岡支店営業課 TEL 054-273-4106、FAX 054-275-0001

※前回からの変化 改善  横ばい  悪化 

1. 需要項目別の動向

(1) 個人消費（前回からの変化：➡）

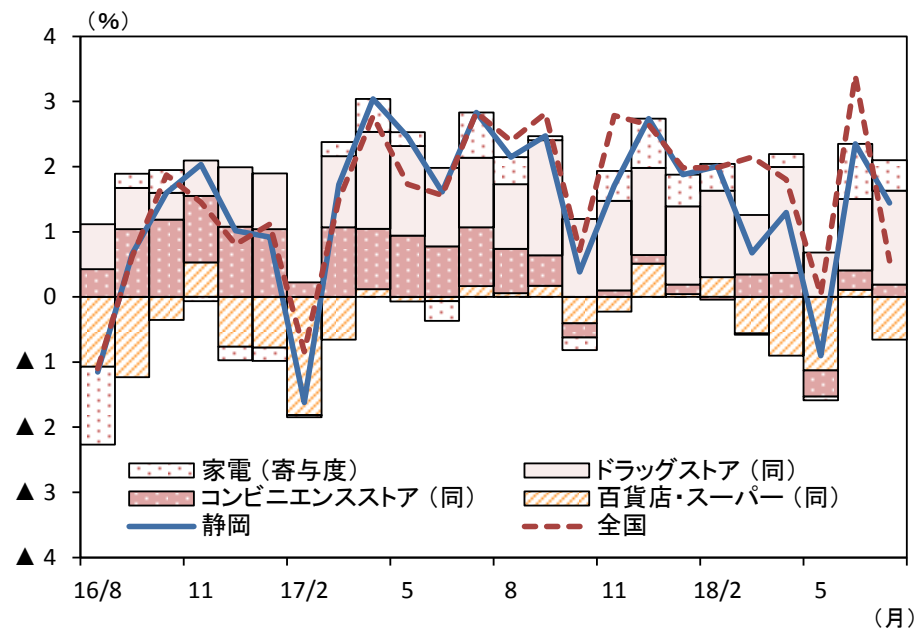
○ 雇用・所得環境が緩やかに改善する中、持ち直しの動きが続いている。

▽個別項目の動向

(前回からの変化)			(前回からの変化)		
百貨店・スーパー売上高	弱めの動きとなっている。	➡	新車登録台数・新車販売台数	普通・小型乗用車は一頃に比べ弱めの動きとなっている。軽乗用車は増加している。	➡
コンビニエンスストア売上高	緩やかに増加している。	—※	家電販売額	増加している。	➡
ドラッグストア売上高	増加している。	—※	旅館・ホテルの宿泊客数	緩やかに持ち直している。	➡

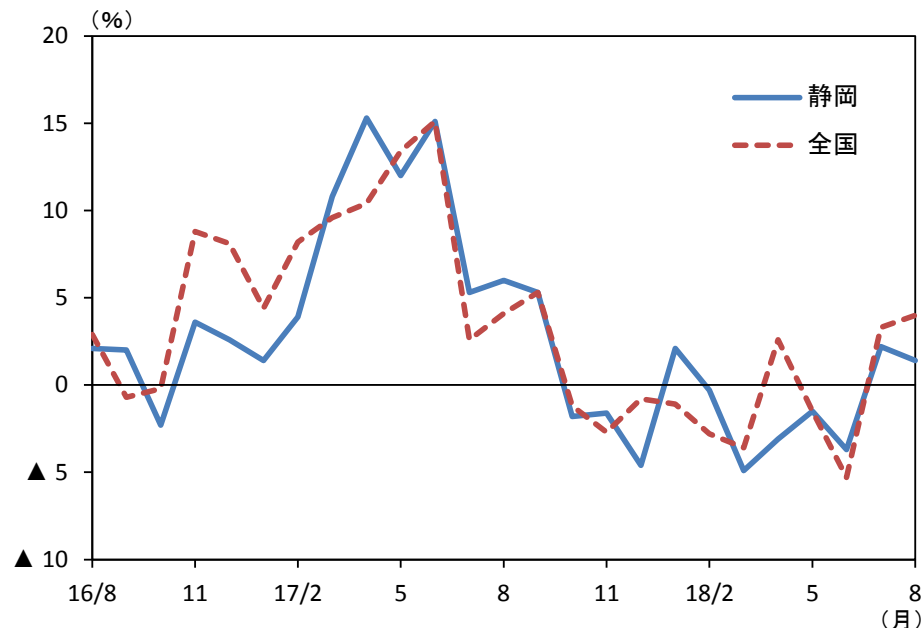
※ コンビニエンスストア売上高とドラッグストア売上高は、新設項目のため「前回からの変化」(矢印)の記載なし。

主要小売業販売額・前年比



(注) 百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額の合計値
(出所) 経済産業省


乗用車新車登録台数（含む軽）・前年比



(出所) 日本自動車販売協会連合会静岡県支部、静岡県軽自動車協会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

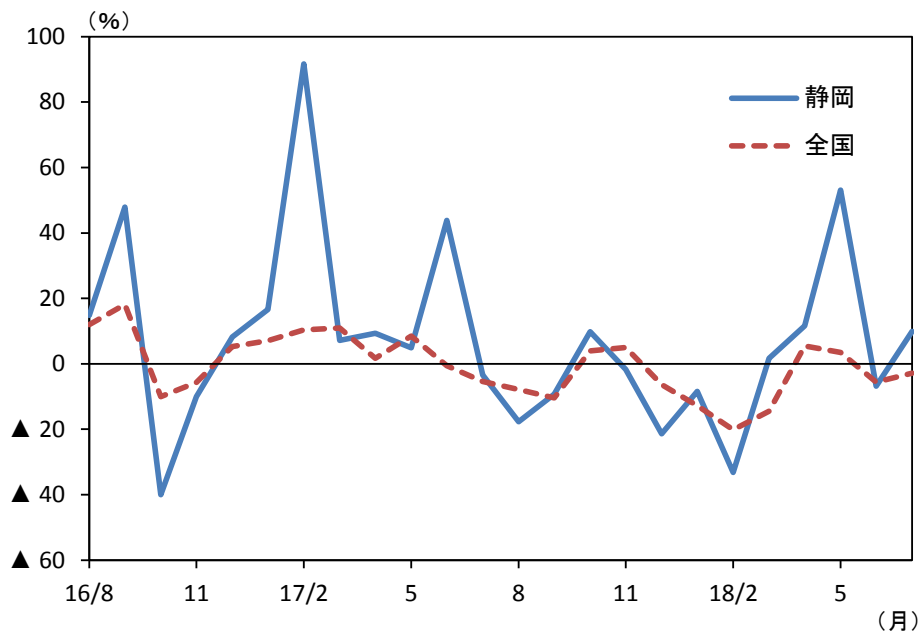
(2) 公共投資（前回からの変化：  ）

○ 増加している。

(3) 設備投資（前回からの変化：  ）

○ 能力増強投資のほか、生産性向上関連や研究開発関連の投資がみられるなど、製造業を中心に増加が続いている。

公共工事請負金額・前年比




短観：設備投資額（含む土地投資）・前年度比

		17年度		18年度	
		実績	修正率	計画	修正率
静岡県	全産業	2.8	▲ 6.9	6.4	▲ 1.9
	製造業	3.2	▲ 11.3	12.3	▲ 4.6
	非製造業	2.3	▲ 1.2	▲ 0.4	2.0
全国	全産業	4.4	0.4	7.9	9.0
	製造業	6.3	▲ 0.2	16.0	9.2
	非製造業	3.4	0.7	3.3	9.0

(注) 静岡は東日本建設業保証の取扱分。全国は北海道建設業信用保証、東日本建設業保証、西日本建設業保証の取扱分
(出所) 東日本建設業保証





(出所) 日本銀行静岡支店、日本銀行

2. 生産、雇用・所得、物価の動向

(1) 生産（前回からの変化：  ）

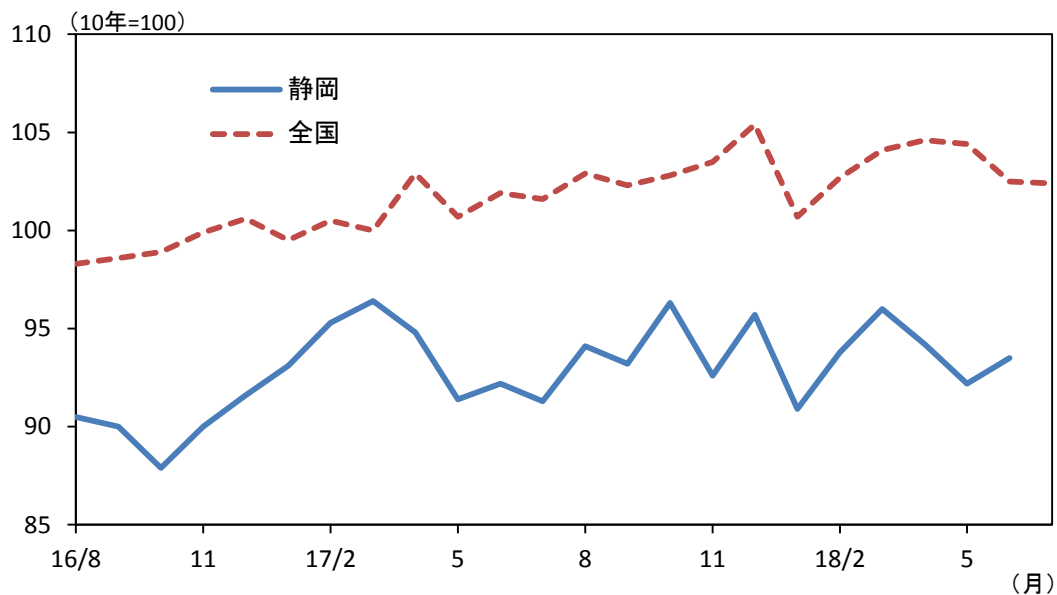
○ 振れを伴いながらも緩やかに増加している。

▽個別項目の動向

▽個別項目の動向			▽個別項目の動向		
(前回からの変化)			(前回からの変化)		
自動車・同部品	緩やかに増加している。		化学	増加している。	—※
二輪車・同部品	弱めの動きとなっている。		はん用・生産用・業務用機械	持ち直しつつある。	
食料品	持ち直している。	—※	紙・パルプ	横ばい圏内の動きとなっている。	
電気機械	増加している。		楽器	持ち直しつつある。	

※ 食料品と化学は、新設項目のため「前回からの変化」(矢印)の記載なし。

鉱工業指数・生産



(注) 10年基準、季節調整済
(出所) 静岡県、経済産業省

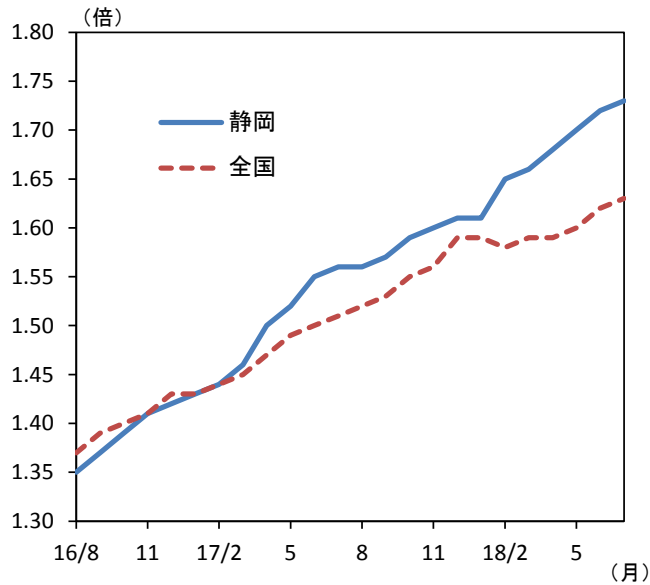
(2) 雇用・所得 (前回からの変化: ➡)

- 労働需給：有効求人倍率、新規求人倍率は高い水準にあり、引き締まった状態が続いている。(➡)
- 雇用者所得：緩やかな増加が続いている。(➡)
 - ・ 一人当たり名目賃金は緩やかな増加が続いている。常用労働者数は横ばい圏内の動きとなっている。

(3) 物価

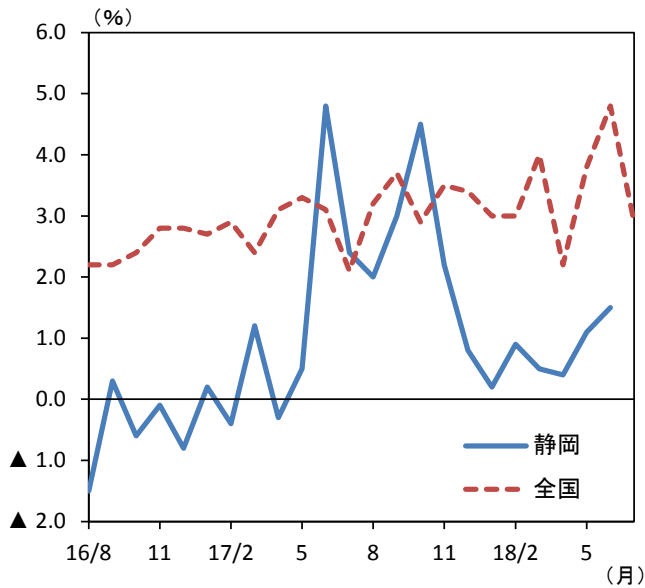
- 前年を上回っている。

有効求人倍率



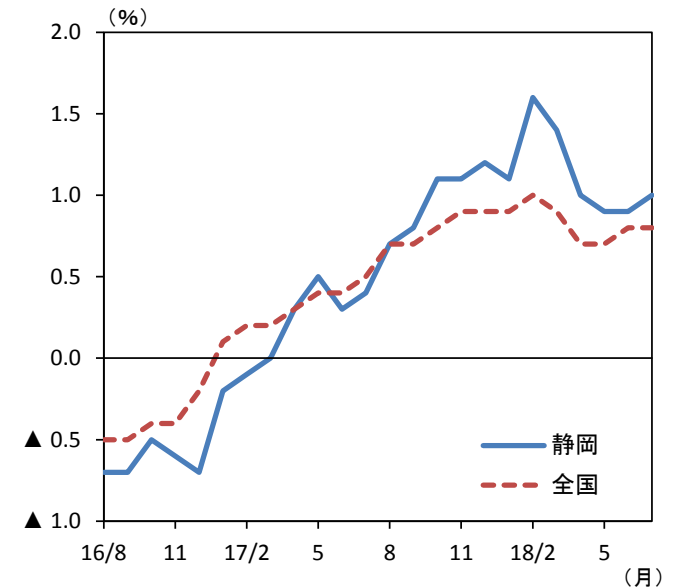
(注) 季節調整値
(出所) 静岡労働局、厚生労働省

雇用者所得・前年比



(注) 15年基準、事業所規模5人以上、全産業
(出所) 静岡県、厚生労働省

消費者物価指数(除く生鮮食品)・前年比



(注) 15年基準、静岡は静岡市
(出所) 総務省

3. 企業倒産、金融面の動向

(1) 企業倒産（負債総額 10 百万円以上）

○ 件数、負債総額ともに総じて落ち着いている。

(2) 預金

○ 引き続き増加している。

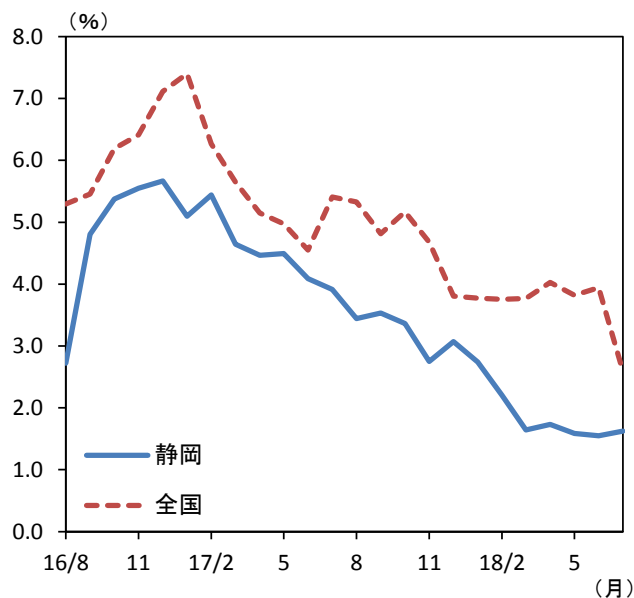
(3) 貸出

○ 減少に転じている。

(4) 貸出約定平均金利（地元地銀・第二地銀 4 行ベース、総合・ストックベース）

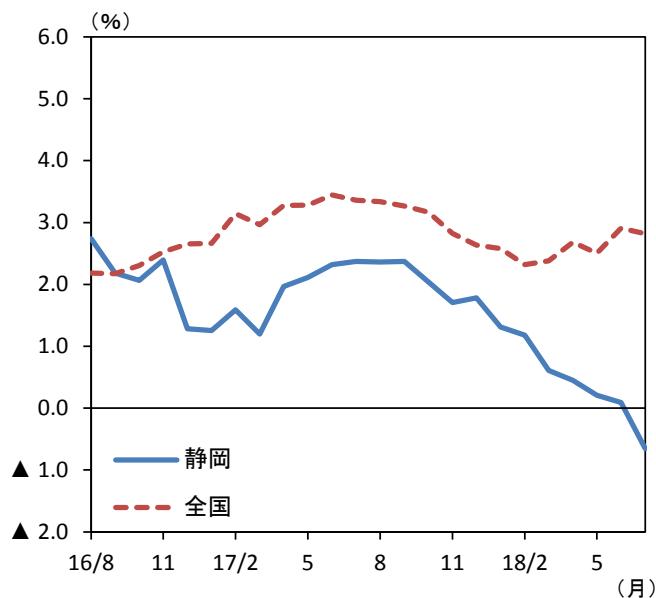
○ 前月比低下した。

実質預金・末残前年比



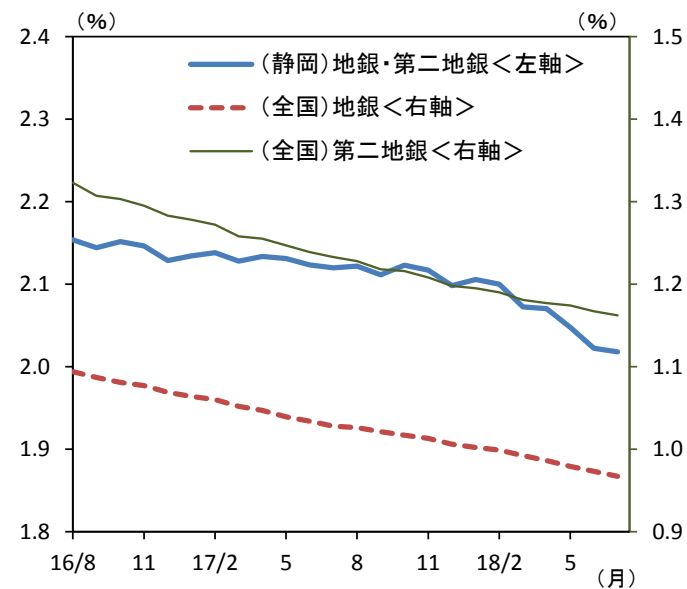
(出所) 日本銀行静岡支店、日本銀行

貸出・末残前年比



(出所) 日本銀行静岡支店、日本銀行

貸出約定平均金利（ストックベース）



(出所) 日本銀行静岡支店、日本銀行

以上

静岡県内主要金融経済指標

計表1 (注1)

▽個人消費 (前年比%)

	18/3月	4月	5月	6月	7月	8月
主要小売業販売額 (注2、3)	0.7	1.3	▲0.9	2.3 p	1.4	n.a.
百貨店・スーパー販売額 (注3)	▲1.5	▲2.4	▲3.1	0.3 p	▲1.9	n.a.
百貨店販売額 (注3)	▲2.5	▲2.7	▲6.0	2.1 p	▲7.5	n.a.
スーパー販売額 (注3)	▲1.3	▲2.4	▲2.4	▲0.1 p	▲0.4	n.a.
コンビニエンスストア販売額 (注3)	1.1	1.2	▲1.2	0.9 p	0.6	n.a.
ドラッグストア販売額 (注3)	4.3	7.4	3.1	4.9 p	6.9	n.a.
家電大型専門店販売額 (注3)	▲0.2	2.3	▲0.6	9.8 p	4.1	n.a.
乗用車新車登録台数(含む軽)	▲4.9	▲3.1	▲1.5	▲3.7	2.2 p	1.4
乗用車新車登録台数(除く軽)	▲7.5	▲10.8	▲2.8	▲9.9	▲0.9	▲4.1
軽乗用車新車販売台数	▲0.9	7.5	0.4	7.1	6.9 p	9.9
延べ宿泊者数	p 0.2	p 9.2	p ▲0.2	p 6.6	n.a.	n.a.

(出所) 経済産業省、日本自動車販売協会連合会静岡県支部、静岡県軽自動車協会、観光庁

▽公共投資 (前年比%)

	18/3月	4月	5月	6月	7月	8月
公共工事請負金額	1.7	11.6	53.1	▲6.8	9.9	n.a.

(出所) 東日本建設業保証

▽設備投資 (前年度比%)

		土地投資を含むベース			研究開発投資等を含むベース(注4)		
		16年度	17年度	18年度計画	16年度	17年度	18年度計画
短観・設備投資額	全産業	▲0.5	2.8	6.4	▲0.6	5.3	11.1
	製造業	0.1	3.2	12.3	▲0.4	6.8	14.4
	非製造業	▲1.2	2.3	▲0.4	▲1.3	1.4	1.7

(出所) 日本銀行静岡支店

▽企業収益 (前年度比%)

	16年度	17年度	18年度計画	
短観・経常利益	全産業	7.9	18.8	▲4.6
	製造業	8.1	24.9	▲4.8
	非製造業	7.0	▲5.6	▲3.7

(出所) 日本銀行静岡支店

pは速報値、rは改訂値

(注1) 計表1は、日本銀行静岡支店作成統計、転載統計とも、原則として資料出所の資料を基に当店で機械計算を行っています。このため、単位未満の数字のみの場合には、マイナス符号は表示されません。また、転載統計については、資料出所が公表・掲載している計数と、計数の末尾の値が異なる可能性があります。

(注2) 百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額を合算

(注3) 全店ベース

(注4) ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)

▽住宅投資 (前年比%)

	18/3月	4月	5月	6月	7月	8月
新設住宅着工戸数	▲17.9	7.0	8.8	▲32.6	25.6	n.a.

(出所) 国土交通省

▽輸出 (前年比%)

	18/3月	4月	5月	6月	7月	8月
輸出額(注5)	▲5.1	▲1.8	5.6	10.4 p	▲1.1	n.a.

(出所) 清水税関支署

▽生産 (前月比%)

	18/3月	4月	5月	6月	7月	8月
鉱工業指数・生産 季節調整済(注6)	2.3	▲1.9	▲2.1 p	1.4	n.a.	n.a.

(出所) 静岡県

▽雇用・所得 (倍、前年比%)

	18/3月	4月	5月	6月	7月	8月
有効求人倍率 季節調整済	1.66	1.68	1.70	1.72	1.73	n.a.
常用労働者数(常用雇用指数a)(注7)	▲0.1	▲0.1	0.9	0.8	n.a.	n.a.
一人当たり名目賃金(名目賃金指数b)(注7)	0.6	0.5	0.2	0.7	n.a.	n.a.
雇用者所得(a×b)(注7)	0.5	0.4	1.1	1.5	n.a.	n.a.

(出所) 静岡労働局、静岡県

▽物価 (前年比%)

	18/3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費者物価指数(除く生鮮食品)(注8)	1.4	1.0	0.9	0.9	1.0	n.a.

(出所) 総務省

▽業況感 (「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント)

	18/3月	6月	9月予測
短観・業況判断DI.(注9)	17	14	12

(出所) 日本銀行静岡支店

短観・業況判断DI.(注9)

	18/3月	6月	9月予測
短観・業況判断DI.(注9)	17	14	12

(出所) 日本銀行静岡支店

(注5) 清水港、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4港合計値

(注6) 10年基準

(注7) 15年基準、事業所規模5人以上、全産業

(注8) 15年基準、静岡市

(注9) 全産業

計表 2

▽倒産 (件、億円、%)

	18/3月	4月	5月	6月	7月	8月
倒産 件数(注1)	26	12	24	27	16	22
前年比	▲16.1	▲47.8	33.3	17.3	▲40.7	4.7
倒産 負債総額(注1)	30	21	30	53	20	23
前年比	▲57.7	▲68.0	31.1	81.8	▲33.5	38.5

(出所)東京商工リサーチ静岡支店

▽預金 (前年比%、億円)

	18/3月	4月	5月	6月	7月	月末残高
実質預金 末残(注2)	1.6	1.7	1.6	1.5	1.6	228,324
銀行	1.0	1.0	0.9	0.8	1.0	147,816
都銀	▲4.4	▲4.8	▲1.7	▲1.8	▲1.4	19,287
地銀・第二地銀	2.2	2.2	1.6	1.5	1.5	123,579
信金	2.8	3.1	2.9	2.9	2.9	80,507

(出所)日本銀行静岡支店

▽貸出 (前年比%、億円)

	18/3月	4月	5月	6月	7月	月末残高
貸出 末残(注3)	0.6	0.4	0.2	0.1	▲0.7	138,340
銀行	0.3	0.2	▲0.2	▲0.4	▲1.4	100,025
都銀	▲4.3	▲3.0	▲3.1	▲2.5	▲4.7	10,595
地銀・第二地銀	1.0	0.6	0.2	▲0.2	▲1.0	88,341
信金	1.3	1.2	1.2	1.5	1.3	38,315

(出所)日本銀行静岡支店

(注1) 倒産は負債総額10百万円以上の合計

(注2) 当店当座預金取引先の県内所在店舗ベース、実質預金＝表面預金(譲渡性預金は含まない)－小切手・手形

(注3) 当店当座預金取引先の県内所在店舗ベース

(注4) 地元16行庫の県内所在店舗ベース

▽貸出約定平均金利 (水準%)

	18/3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出約定平均金利 (ストックベース) (注4)						
地銀・第二地銀	2.072	2.070	2.048	2.022	2.018	n.a.
信金	1.470	1.466	1.461	1.456	1.452	n.a.

(出所)日本銀行静岡支店

▽銀行券 (億円)

	18/3月	4月	5月	6月	7月	8月
受入額	863	830	1,155	1,016	1,170	1,240
支払額	1,310	1,564	1,009	1,349	1,196	1,355
受払(▲)超過額	▲447	▲734	146	▲333	▲26	▲115

(出所)日本銀行静岡支店